

令和8年度理事長杯競技特別規則

東京国際ゴルフ倶楽部

日本ゴルフ協会ゴルフ規則と本競技では次の規則を適用する。

1. 競技者は、ホールとホールの間とグリーン上やその近くでの練習ストロークをしてはならない。本条の違反は次のホールに2打罰を付加する。最終ホールでの違反は、そのホールに2打罰を付加する。ハーフターンの練習は、練習グリーン以外禁止とする。(違反した場合、午後の最初のホールに2打罰)
2. コースの境界(OB)は白杭をもって標示する。特にNo.1、No.2、No.7、No.8、No.15、No.18のいずれも右側で白杭の区域を越えた球と、No.3右側、No.11左側の白杭の線を越えた球はOBとする。
また修理地は白線または青杭をもって標示する。
3. No.12ホールは飛距離(キャリー)200ヤード以内で打たなければならない。
4. 電磁カート道路の軌道は全幅をもってカート道路とみなし、球がこのカート道路上にある場合、あるいはスタンスがかかる場合は、ホールに近付かず球の止まっている箇所に最も近い地点を設定し、その地点から1クラブレンジ以内にドロップしなければならない。
本条の違反は2打罰を付加する。
5. 樹木の支柱、埋木、金網、給排水設備(U字溝を含む)は、規則第16条の1によって処置しうる動かせない障害物とする。但し、道路、通路の舗装していない側面はその限りではない。
6. 球が空中に張られた動力線やケーブル、電話線に当たった場合は、そのストロークを取り消し、罰なしに再プレーしなければならない。本条の違反は2打罰を付加する。
7. 正当な理由がある場合を除き、前後半プレー終了後、前行組との間隔を20分以上空けた場合は、その組全員に2打罰を付加する。

競技方法

1. 予選・決勝通算54ホールのアンダーハンディキャップ競技とする。
2. 第一次予選は18ホールストロークプレー、予選通過は上位60位タイまでとする。
3. 第二次予選は18ホールストロークプレー、予選通過は上位30位タイまでとする。
4. 決勝は18ホールストロークプレーとする。
5. 1位タイの場合はNo. 1ホールからのサドンデスによるプレーオフとする。
2位～5位タイの場合は年長順とする。

サドンデス時のHDCP表

HDCP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3/4	1	2	2	3	4	5	5	6	7	8	8	9

HDCP	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
3/4	10	11	11	14	15	16	17	17	18	19	20	20

6. 第一次予選はレギュラーティを使用し、第二次予選および決勝はバックティを使用する。

注意事項

1. スタート時刻30分前にフロントにて受付を済ませ、10分前に必ず所定のティーグラウンドに到着して下さい。
2. プレーは常に遅延しないようにして下さい。
3. パットは全員の球がそのグリーンにオンしたら開始して下さい。
4. パー3ホールに於いて1組以上詰まった場合、全員がグリーンオンしたら後続組を打たせてください。
5. 2次予選・決勝に出場できない場合は、スコア提出の際に必ず申し出て下さい。
6. 決勝競技終了後、表彰式(入賞1～5位)がございます。上着の着用をもってご参加ください。
7. 規則変更があった場合は当日掲示します。
8. 1次予選時の練習場でのボールは24球を限度とする。